

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート簡易版(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	スポーツ推進審議会関係費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 37 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	スポーツ基本法第31条の規定により、スポーツ推進に関する重要事項を調査審議する機関として設置した藤沢市スポーツ推進審議会の開催及び委員活動を円滑に実施、市民のスポーツへの意識啓発、普及、促進に寄与する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	審議会を開催し、本市スポーツ行政の重要な事項について審議を行った。 審議会開催:年5回 委員12名 (主な審議事項) 平成31年度体力づくり運動推進功労者表彰候補者の選考について 「みらいふじさわスポーツ元気プラン実施計画」進捗状況について						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 396 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	396 千円	スポーツ推進審議会委員報酬
財源内訳	R元年度 支出済額 396 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	396 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	2,226	2,289	2,209	2,342			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,233	2,339	2,231	2,340			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	304	405	304	396			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	1,929	1,934	1,927	1,944			
	①職員給与合計(常勤)	1,820	1,844	1,833	1,828			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	109	90	94	116			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-7	-50	-22	2			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-7	-50	-22	2			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	5.24	425,105	5.35	427,501	5.15	429,317	5.41

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		本市のスポーツ推進に関する重要事項を調査審議した内容が成果となるため、数値で表すことができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-								

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	「みらいふじさわスポーツ元気プラン実施計画」の進捗状況について各団体からの意見を集約し，計画の見直し等を含めた検討を行う必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	関係団体との協議，調整を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	体力づくり推進運動功労者表彰候補者の選考，「みらいふじさわスポーツ元気プラン実施計画」の進捗状況の確認等を行い，スポーツ行政の充実を図った。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	今後もスポーツ推進に関する重要事項を調査審議し，スポーツ行政の更なる充実を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
26	スポーツ推進審議会の庶務に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	学校体育施設開放事業費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	02	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内小・中学校の体育施設開放事業の円滑な運営を行うことにより、地域住民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。 校庭・体育館開放54校(小・中学校)、プール開放35校(小学校) 開放は、学校教育に支障のない日の時間帯に行う。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法, 社会教育法					
事業実施内容	各開放校に学校体育施設市民利用運営協議会を設け、円滑な運営を図るため開放会議を行った。 全小・中学校で校庭・体育館開放事業、全小学校でプール開放事業を行った。 校庭開放利用人数: 298,458人 体育館開放利用人数: 209,427人 プール開放利用人数: 4,914人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市立藤沢小学校体育施設市民利用運営協議会ほか53協議会) (委託等内容 : 藤沢市立小・中学校体育施設市民利用運営業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 34,928 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	17,825 千円	藤沢市立小・中学校管理指導員謝礼
		需用費	6,773 千円	体育館床ワックス塗布修繕ほか
		役務費	1,089 千円	施設賠償責任保険料ほか
		委託料	8,768 千円	藤沢市立小・中学校体育施設市民利用運営業務
その他	473 千円	維持補修原材料費・備品購入費		
財源内訳	R元年度 支出済額 34,928 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	34,928 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	47,118	46,809	45,030	44,656
	(1)現金を伴う支出 (千円)	47,151	47,060	45,138	44,647
	事業費(支出済額－②報酬合計)	37,506	37,393	35,502	34,928
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①＋②＋③)	9,645	9,667	9,636	9,719
	①職員給与合計(常勤)	9,101	9,219	9,167	9,141
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	544	448	469	578
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-33	-251	-108	9
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-33	-251	-108	9
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	110.84	109.49	104.89	103.12	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	学校体育施設開放事業利用者数	目標	420,000	単位	420,000	単位	420,000	単位	420,000	単位
			実績	501,426	単位	519,068	単位	542,437	単位	512,799	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			93.97	90.18	83.01	87.08					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 各学校体育施設と備品の老朽化。 学校及びスポーツ推進課における事務手続きの効率化。 学校プール開放事業については，スポーツ施設に近接する小学校や，小学校間が近接している施設は利用人数が少ない。
(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各施設の現状把握と教育部との連携した対応。 「学校の働き方」見直しに合わせ，事務手続きを検討する。 学校プール開放事業については，費用対効果や，必要性，効率性を踏まえ，運用について検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市内小・中学校の体育施設開放事業（校庭・体育館開放54小・中学校，プール開放35小学校）の円滑な運営を行うことにより，地域住民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供し，地域スポーツ活動の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	継続して市内小・中学校の体育施設開放事業を行い，地域のスポーツ・レクリエーション活動の推進に取り組む姿勢を維持する。夏季の学校プール開放事業については，利用人数の少ない地区など偏りが生じていることから，地区の特性を考慮しつつ，見直しを図る必要がある。各地区の考え方を確認するとともに，地域の実情を踏まえた運用について検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
35	学校体育施設市民利用運営協議会に関すること	無	無	1	
36	管理指導員に関すること	無	無	1	
37	学校プール一般開放に関すること	無	無	2	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	団体育成費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	03	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 26 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域スポーツや、競技スポーツ、障がい者スポーツ・レクリエーションの推進を図るため、各種スポーツ・レクリエーション団体を育成する。						
対象	4. その他	スポーツ団体及び市民1				433,060 人	
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	スポーツ推進の中心的な市内団体としての藤沢市体育協会・藤沢市レクリエーション協会・地区社会体育振興協議会・藤沢市スポーツ少年団本部に対し、団体育成・活動支援を目的に補助金を交付した。藤沢市ゆかりのスポーツ選手の功績を称える「スポーツ人の集い」やスポーツのノーマライゼーション推進を図る「ふじさわバラスポーツフェスタ2019」を開催し、スポーツ活動の普及・啓発に努めた。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : 藤沢市体育協会・藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会) (委 託 等 内 容 : スポーツ人の集い開催業務・障がい者スポーツ推進事業業務) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金及び負担金 : 藤沢市体育協会 他) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 16,126 千円	事業費節別内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	887 千円	スポーツ人の集い開催業務委託・障がい者スポーツ推進事業業務委託
		使用料及び賃借料	884 千円	AEDリース料
		負担金補助及び交付金	14,355 千円	地区社会体育振興協議会活動費補助金等
財源内訳	R元年度 支出済額 16,126 千円	事業費節別財源内訳		
		費 目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	16,126 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	17,106	16,547	20,432	29,374			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	17,132	16,748	19,615	28,760			
	事業費(支出済額－②報酬合計)	9,415	9,015	9,015	16,126			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,717	7,733	10,600	12,634			
	①職員給与合計(常勤)	7,281	7,375	10,084	11,883			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	436	358	516	751			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-26	-201	817	614			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-26	-201	817	614			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	40.24	425,105	38.71	427,501	47.59	429,317	67.83	433,060

成果実績	指標名	目標	34,000	単位	34,000	単位	34,000	単位	34,000	単位
			実績	33,172	人	33,224	人	33,068	人	32,569
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		515.68		498.04		617.88		901.90		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	各統括団体の安定した運営と組織の活性化
(2) (1)解決のための今後の取組	各統括団体の組織の活性化を図るため，各団体主催事業の情報発信等，側面的なサポートを行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	各統括団体を育成することにより，市民の多様なスポーツ・レクリエーション活動の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	地域スポーツ・レクリエーションや競技スポーツの推進を図るため，各種スポーツ・レクリエーション団体を引き続き育成していくとともに，組織の活性化を推進していく。 スポーツ・レクリエーション活動における地域性を把握し，各地区における課題を整理する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
19	藤沢市体育協会に関すること	有	有	1	
20	藤沢市地区社会体育振興協議会に関すること（連合会の庶務を含む）	無	有	1	3
23	藤沢市スポーツ少年団本部に関すること	無	有	1	3
24	藤沢市レクリエーション協会に関すること	無	有	1	3
25	団体予算の支出・収入に関すること	無	有	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	各種大会・選手派遣事業費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	04	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	スポーツの普及推進を目的に、広く市民に対し競技会参加の機会を設け、競技力向上及びスポーツ人口の拡大を図るため各種大会を開催する。また、県主催の競技会に市代表選手を派遣する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	誰でも参加できる「スポーツまつりふじさわ2019」を開催し、スポーツに親しむ機会を市民へ提供するとともに、市民総合体育大会継承大会を開催し、市民に各種競技スポーツ大会への参加機会を提供した。また、県主催競技会に派遣する本市代表選手選考を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市体育協会, 藤沢市陸上競技協会, スポーツまつりふじさわ2019実行委員会) (委託等内容 : 市民総合体育大会継承大会開催業務, スポーツまつりふじさわ2019開催業務, 県下駅伝競走大会藤沢市代表選手選考業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額	事業費節別内訳		3,017 千円	主な事業内容			
		費目	支出済額 (千円)					
		委託料	3,017 千円			市民総合体育大会継承大会開催業務委託 ほか		
財源内訳	R元年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3,017 千円	3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)			
		費目	支出済額 (千円)					
		分担金・負担金					令和元年度	
		使用料・手数料					正規職員等	0.50
		国庫支出金					再任用短時・任期付短時職員	0.00
		県支出金					非常勤職員	0.00
	その他 ()			合計	0.50			
	一般財源		3,017 千円	※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員				

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	7,706	7,685	7,742	7,881			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,722	7,811	7,796	7,877			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,899	2,977	2,977	3,017			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,823	4,834	4,819	4,860			
	①職員給与合計(常勤)	4,551	4,610	4,584	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	272	224	235	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-16	-126	-54	4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-16	-126	-54	4				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	18.13	425,105	17.98	427,501	18.03	429,317	18.20	433,060

成果実績	指標名	市民総合体育大会継承大会参加者数	目標	20,000	単位 延人	20,000	単位 延人	20,000	単位 延人	20,000	単位 延人
		スポーツまつりふじさわの参加者数	実績	20,571	単位 延人	21,694	単位 延人	19,407	単位 延人	20,882	単位 延人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				374.61	354.25		398.93		377.41		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	スポーツまつりふじさわ，市民総合体育大会継承大会に参加する機会を，より多くの市民に提供する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	各関係団体と連携し，参加促進を周知しながら事業を実施する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	身近にスポーツに親しむ機会を設け，市民の健康増進に寄与した。 また，競技スポーツ推進を目的に競技会参加の機会を設け，競技力向上並びにスポーツ人口の拡大が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後もだれもが参加できるスポーツまつりふじさわを開催し，スポーツに親しむ機会を市民へ提供するとともに，市民総合体育大会継承大会を開催し，市民に各種競技スポーツ大会への参加機会を提供する。また，県主催競技会に引き続き本市代表選手を派遣する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
6	藤沢市民総合体育大会継承大会に関すること	無	有	1	
7	スポーツまつりふじさわに関すること	無	有	1	
11	かながわ駅伝競走への選手派遣に関すること	無	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	指導者養成関係費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	05	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	スポーツ基本法第32条に定められたスポーツ推進委員により組織された藤沢市スポーツ推進委員協議会へ研修会等を委託し、地域スポーツの推進を図る。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	地域スポーツ推進の要となるスポーツ推進委員を育成するために、各種研修・講習会を開催した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市スポーツ推進委員協議会) (委託等内容 : スポーツ推進委員育成研修等の開催業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 14,216 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	13,916 千円	藤沢市スポーツ推進委員報酬
		委託料	300 千円	藤沢市スポーツ推進委員育成事業業務委託
財源内訳	R元年度 支出済額 14,216 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	14,216 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	19,676	18,945	18,981	19,080			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,692	19,071	19,035	19,076			
	事業費(支出済額－②報酬合計)	14,869	14,237	14,216	14,216			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①＋②＋③)	4,823	4,834	4,819	4,860			
	①職員給与合計(常勤)	4,551	4,610	4,584	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	272	224	235	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-16	-126	-54	4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-16	-126	-54	4			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	46.29	425,105	44.32	427,501	44.21	429,317	44.06	433,060

成果実績	指標名	各種研修会、大会への参加人数	目標	300	単位	300	単位	300	単位	300	単位
			実績	323	単位	296	単位	330	単位	268	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			60,916.41	64,003.38	57,518.18	71,194.03					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	地域へ普及するためのニュースポーツについては，年々新たな種目が誕生し，ルールが複雑化している。
(2) (1)解決のための今後の取組	地域のニーズを捉え，各種ニュースポーツを普及するための研修会を開催する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域住民を対象とした各種ニュースポーツの大会を行うことにより，スポーツ推進委員としての役割や運営について理解を深め，その知識・技術を地域に還元することにより，地域スポーツの振興を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後もスポーツ推進委員を対象に各種研修・講習会を開催し，地域のスポーツ・レクリエーション指導者の育成と協議会組織の強化を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
21	スポーツ推進委員に関すること	無	無	1	
22	藤沢市スポーツ推進委員協議会に関すること	無	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	スポーツ振興基金積立金										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	07	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	スポーツ振興基金を設置し、基金の積立を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市スポーツ振興基金条例					
事業実施内容	長期的な財源確保を図るため、スポーツ振興基金への積立を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 11,720 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		積立金	11,720 千円	スポーツ振興基金積立金
財源内訳	R元年度 支出済額 11,720 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金 その他 (寄付金)	11,720 千円	
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A	1,302	2,031	7,234	12,693
(1)現金を伴う支出 (千円)	1,305	2,056	7,245	12,692
事業費(支出済額-②報酬合計)	341	1,089	6,281	11,720
償還金利息	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	964	967	964	972
①職員給与合計(常勤)	910	922	917	914
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
③退職金相当額	54	45	47	58
(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3	-25	-11	1
①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	-3	-25	-11	1
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	3.06	4.75	16.85	29.31
	425,105	427,501	429,317	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		市民・団体等からの寄付金に対して指標の設定はできないため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-								

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	長期的な財源確保が課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	ふるさと納税の活用等による財源確保に取り組む。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	ふるさと納税の活用等により，一定の財源確保ができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	継続してスポーツ振興基金への寄付を受け付け，積立を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
42	スポーツ振興基金に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	スポーツ奨励事務費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	002	説明	08	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	地域スポーツの普及奨励に貢献された方を表彰する、体力づくり運動推進功労者表彰式の開催、国際大会・全国大会出場選手への賞賜金の交付及びスポーツ行政事務にかかる諸経費。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法															
事業実施内容	地域スポーツの普及奨励に貢献された方を表彰するとともに、全国大会等に出場する市民に賞賜金を交付することで、生涯スポーツの推進と競技スポーツの発展に寄与した。 体力づくり運動推進功労者表彰式：9月7日(土)表彰者 39人 賞賜金交付：264人																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 神奈川県体育施設協会) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 4,791 千円	事業費節別内訳		主な事業内容	
		費目	支出済額 (千円)		
		賃金	1,408 千円		臨時職員賃金
		報償費	2,025 千円		全国大会等出場者賞賜金
		需用費	609 千円		事務消耗品ほか
		役務費	700 千円		傷害保険料
その他	49 千円	旅費、県体育施設分担金、事務負担金			
財源内訳	R元年度 支出済額 4,791 千円	事業費節別財源内訳			
		費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
その他 (スポーツ振興基金)	1,925 千円				
一般財源	2,866 千円				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
行政費用 A	12,667	12,612	9,433	15,724				
(1)現金を伴う支出 (千円)	12,009	12,788	9,810	14,510				
事業費(支出済額－②報酬合計)	5,257	6,022	4,028	4,791				
償還金利息	0	0	0	0				
人件費合計(①＋②＋③)	6,752	6,766	5,782	9,719				
①職員給与合計(常勤)	6,371	6,453	5,500	9,141				
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
③退職金相当額	381	313	282	578				
(2)現金を伴わない支出 (千円)	658	-176	-377	1,214				
①減価償却費	0	0	0	0				
②退職給与引当金繰入額	658	-176	-377	1,214				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	29.80	425,105	29.50	427,501	21.97	429,317	36.31	433,060

成果実績	指標名	賞賜金交付対象人数	目標	200	単位	200	単位	200	単位	200	単位
			実績	196	単位	215	単位	186	単位	264	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			64,627.55	58,660.47	50,715.05	59,560.61					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	賞賜金制度の認知度の向上。
(2) (1)解決のための今後の取組	賞賜金制度について，市内体育関係団体を通じた周知やホームページへの掲載等を行い，認知度の向上に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	スポーツ競技者に対する賞賜金の交付，体力づくり・スポーツ活動の普及・奨励に貢献された方に対する表彰，後援名義使用許可申請手続きを行うなど，スポーツ活動の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	賞賜金の交付，各種表彰などを継続して行い，子どもたちや競技者のスポーツ活動を充実させる。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
15	総合型地域スポーツクラブに関すること	無	無	1	
16	賞賜金に関すること	無	無	2	
17	体力づくり表彰・その他表彰に関すること	無	無	1	
18	各種大会の共催・後援許可に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	スポーツ施設整備費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 30 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市民が安心して利用できるスポーツ・レクリエーション施設の整備・改修及び修繕を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	八部公園屋内プール内壁の改修工事を実施した。また、その他各スポーツ施設の破損箇所等修繕を行うことで、市民が安心安全にスポーツ活動ができる環境を整備した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 24,806 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	11,641 千円	その他緊急修繕費
		役務費	84 千円	事務手数料
		使用料及び賃借料	4,072 千円	葛原スポーツ広場賃借料,八部公園野球場コートローラー賃借料
工事請負費	9,009 千円	八部公園屋内プール内壁改修工事		
財源内訳	R元年度 支出済額 24,806 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	24,806 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.60
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.60

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	230,662	183,179	112,229	30,945			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	230,681	183,330	112,595	30,638			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	224,893	177,530	107,776	24,806			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,788	5,800	4,819	5,832			
	①職員給与合計(常勤)	5,461	5,531	4,584	5,485			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	327	269	235	347			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-19	-151	-366	307			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-19	-151	-366	307				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	542.60	425.105	428.49	427.501	261.41	429,317	71.46	433,060

成果実績	指標名	スポーツ施設数	目標	19	単位 施設	20	単位 施設	20	単位 施設	20	単位 施設
			実績	18	単位 施設	19	単位 施設	19	単位 施設	19	単位 施設
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			12,814,555.56	9,641,000.00	5,906,789.47	1,628,684.21					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	各施設の老朽化が進んでいる。
(2) (1)解決のための今後の取組	各施設の指定管理者から受ける不具合箇所についての報告内容を精査し，修繕・改修の計画を立てる。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	八部公園屋内プール内壁改修工事が完了し，市民に安心安全なスポーツ施設を提供することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	各施設の老朽化について，設備等の現状を把握し，劣化度調査を行う等，中長期的な計画策定のための準備を進める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
2	スポーツ施設整備計画の策定に関すること	有	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	学校夜間照明施設関係費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 2 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内小中学校3校(明治小学校・御所見中学校・長後中学校)に設置されている夜間照明施設により、市民に夜間の屋外スポーツ活動の場を提供する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	スポーツ基本法					
事業実施内容	市内小中学校3校(明治小学校・御所見中学校・長後中学校)に夜間照明施設を設置することにより、日中にスポーツ活動を行うことが困難な市民に屋外スポーツ活動の機会を提供した。 利用期間：3月～11月 利用人数：6,029人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先：増子電気工事(株), (公財)藤沢市まちづくり協会) (委託等内容：学校屋外運動場夜間照明施設清掃点検業務, 学校屋外運動場夜間照明施設管理業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 3,963 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	1,214 千円	照明安定器修繕, 石灰, 管理日誌
		委託料	2,727 千円	学校屋外運動場夜間照明施設管理業務委託ほか
		原材料費	22 千円	グリーンサンド
財源内訳	R元年度 支出済額 3,963 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	872 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	3,091 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	6,653	6,426	7,181	6,880			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,323	6,501	7,213	6,878			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	3,430	3,601	4,322	3,963			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,893	2,900	2,891	2,915			
	①職員給与合計(常勤)	2,730	2,766	2,750	2,742			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	163	134	141	173			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	330	-75	-32	2			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	330	-75	-32	2				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	15.65	425,105	15.03	427,501	16.73	429,317	15.89	433,060

成果実績	指標名	利用者数	目標	7,000	単位	7,500	単位	7,500	単位	7,500	単位
			実績	7,148	単位	7,721	単位	6,936	単位	6,029	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			930.75	832.28	1,035.32	1,141.15					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	夜間照明設備の老朽化が進んでいる。
(2)	(1)解決のための今後の取組	定期点検結果を基に，計画的に修繕する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	夜間における学校体育施設を有効活用することにより，日中にスポーツ活動を行うことが困難な市民に屋外スポーツ活動の機会を提供し，市民の健康増進に寄与できた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	引き続き，学校屋外運動場に夜間照明施設を設置している3校（明治小学校，御所見中学校，長後中学校）の一般供用を行う。また，新たな夜間照明施設設置に向けた調査を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
33	学校屋外運動場夜間照明設備の保守管理業務に関すること	無	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	スポーツ施設維持管理事業費										担当課	部課名	生涯学習部スポーツ推進課			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	西台 篤史	電話	6767

1. 事業概要

事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	指定管理者制度によるスポーツ施設管理運営, スポーツ広場維持管理及び奥田公園駐車場負担金に係る経費。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	地方自治法, 藤沢市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例, 同施行規則, 他					
事業実施内容	運動施設等指定管理業務・スポーツ広場管理運営及び整備業務・石名坂温水プール駐車場システム保守点検業務を委託した。また, 石名坂温水プール駐車場管理装置賃借・奥田公園駐車場負担金の支払いを実施し, 指定管理者等によるスポーツ施設の適正な管理運営を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : (公財)藤沢市みらい創造財団) (委託等内容 : 運動施設等指定管理) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : (公財)藤沢市まちづくり協会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 988,717 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	389 千円	スポーツ施設登録カードほか
		委託料	946,669 千円	運動施設等指定管理料, スポーツ広場管理運営業務
		使用料及び賃借料	362 千円	石名坂温水プール駐車場管理装置賃借料
		負担金補助及び交付金	41,118 千円	奥田公園駐車場負担金
その他	179 千円	体育館備品ほか		
財源内訳	R元年度 支出済額 988,717 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	1,017 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (諸収入)	11,681 千円			
一般財源	976,019 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	1,058,427	1,073,325	102,688,673	102,702,756			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	965,441	980,095	989,388	1,003,296			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	946,695	965,412	974,601	988,717			
	償還金利息	4,277	183	332	0			
	人件費合計(①+②+③)	14,469	14,500	14,455	14,579			
	①職員給与合計(常勤)	13,652	13,829	13,751	13,712			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	817	671	704	867			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	92,986	93,230	101,699,285	101,699,460			
	①減価償却費	92,694	93,607	101,699,447	101,699,447			
	②退職給与引当金繰入額	292	-377	-162	13			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2489.80	425,105	2510.70	427,501	239190.79	429,317	237155.95	433,060

成果実績	指標名	施設利用者数	目標	1,350,000	単位	1,380,000	単位	1,350,000	単位	1,350,000	単位
			実績	1,358,376	単位	1,395,856	単位	1,352,424	単位	1,133,124	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			779.19	768.94	75,929.35	90,636.82					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	多様化する市民ニーズに応え，サービスの向上を図るため，市民の意見を把握する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者へのアンケート等を継続し，結果について指定管理者と共有する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	指定管理者等によるスポーツ施設の適正な管理運営が行われ，経費の節減と市民サービスの向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	今後も指定管理者によるスポーツ施設等の管理運営を行うことにより，経費の節減と市民サービスの向上を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
28	スポーツ施設予約システムに関すること（IT関連を含む）	有	有	1	
30	スポーツ施設の維持管理に関すること	有	有	1	
31	スポーツ広場の管理・整備・便所清掃業務に関すること	無	有	1	
38	まちかどスポーツ広場の設置及び運営管理に関すること	有	有	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------